



水稲用 初・中期一発処理除草剤

ラオウ®

1キロ粒剤 フロアブル

水田除草の 勝者と 成る。

ノビエ

ホタルイ

ミズアオイ

オモダカ



エフィーダ®
(莖葉白化作用)



フェノキサスルホン®
(ノビエ残効性)



ベンスルフロンメチル
(幅広い草種に対応)



ダイムロン
(カヤツリグサ科の発芽抑制)

4成分で除草を制す。



※商品画像はイメージです。®はクマイ化学工業(株)の登録商標

ラオウ[®] 1キロ粒剤フロアブル

- 有効成分：ダイムロン…6.0% (1キロ粒剤)、11.3% (フロアブル)
フェノキサスルホン…1.5% (1キロ粒剤)、2.8% (フロアブル)
フェンキノトリオン…2.5% (1キロ粒剤)、4.7% (フロアブル)
ペンシルフロノメチル…0.75% (1キロ粒剤)、1.4% (フロアブル)
- 人畜毒性：普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

- 有効成分「エフィーダ[®] (一般名：フェンキノトリオン)」を配合した4成分の混合剤です。
- エフィーダ配合により水稲安全性が高く、広葉雑草に幅広く効果を示し、特にホタルイなどのカヤツリグサ科雑草に高い効果を発揮します。
- ペンシルフロノメチル配合により多年生雑防除雑草に高い効果を示します。
- フェノキサスルホン配合によりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

適用雑草及び使用方法

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：ダイムロン3回以内 (移植水稲：育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)・2回以内 (直播水稲)、フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、ペンシルフロノメチル2回以内

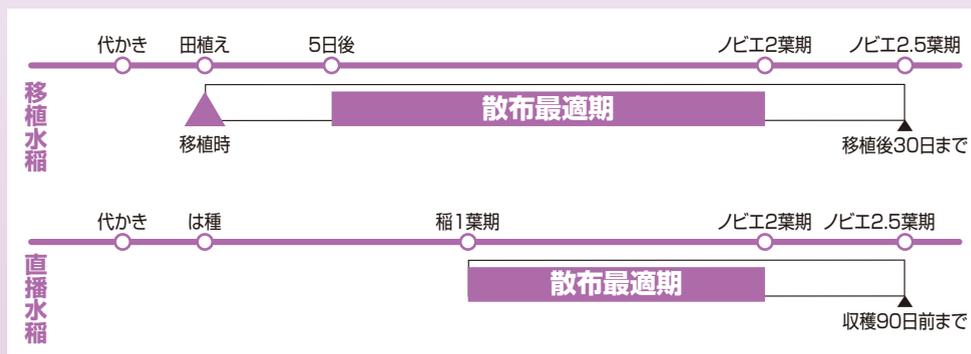
1キロ粒剤 (農林水産省登録 第24579号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ オモダカ、クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機 で施用
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで			湛水散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			湛水散布

フロアブル (農林水産省登録 第24581号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ オモダカ、クログワイ コウキヤガラ	移植時	500ml	1回※	田植同時散布機 で施用
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで			原液湛水散布 又は水口施用
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			原液湛水散布

上手な使い方



■使用上の注意 (抜粋)

- 【共通】
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ミズガヤツリ (1キロ粒剤)、ウリカワは2葉期まで、ミズガヤツリ (フロアブル) は草丈10cmまで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生時まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離 (1キロ粒剤) は発生前までが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - 活潑遅延を生じるような異常低温の時
 - 砂質土壌の水田および漏水田 (減水深2cm/日以上)
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
 - 植穴の戻りの悪い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
- 散布した水田の田面水を他の作物の湛水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考に使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 【1キロ粒剤】
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態 (水深3～5cm) を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - 湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れて圃場内に散布してください。
 - 水源地、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
- 【フロアブル】
- 本剤の使用に当っては、使用前に容器をよく振ってください。
- 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態 (水深3～5cm) のまま水田全面にゆきわたるように散布してください。散布後3～4日間は通常の湛水状態 (水深3～5cm) を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態 (水深3～5cm) に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態 (水深3～5cm) を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布又は水口施用をさせ、本田内で水田全面に散布してください。
- 無人航空機で原液湛水散布する際は以下に注意してください。
 - 原液湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 原液湛水散布に当っては噴霧ノズルは使用しないでください。
 - 作業中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないように風の影響等を十分考慮して原液湛水散布してください。
 - 水源地、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
 - 薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 - 散布に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。